

工窓会報



校訓 選定者 中村 元先生

会長挨拶

工窓会会長 田中 正彦

母校120周年に向かい 新たな工窓会を目指して……



令和7年
度に入り、
母校工業高
等学校も新
しい科の編
成があり、

元気に新年度をスタートされました。
工窓会会員の皆様方におかれまして
は、ご健勝のこととお慶び申し上げま
す。

さて、冒頭に申し上げました通り、
時代の変化と子どもたちの減少に伴
い、県内高等学校が様々に再編され、
工業高等学校も電気科がなくなり、電
気電子工学科となりました。これから
も続くと思われる社会の変化や、時代
の流れに卒業生会として、更なる支援
と協力をしなければならぬと強く感
じています。工業という日本の物づく
りを支えてきた卒業生・工窓会会員が
その使命と思いをしっかりと持ち、母
校へのメッセージを届けることで母校
の在校生はもとより、更に後身に向
かっただけの弾みになるのではないかと考
えます。2年後に120周年を迎える
母校、その伝統と歴史を未来へ繋いで
いくために今から準備を進め、日本の
物づくり最前線を支える若者を送り出
す母校として夢と志を持てるよう、私

たち工窓会および会員がその形を示さ
なくてはならないのではないでしょ
うか。昨年も東京支部、近畿支部、倉敷
支部、そしてカナツ技建支部を回らせ
ていただきました。大先輩方が各地区
での卒業生会を守り続け、100年を
迎える支部もありました。今、工窓会
が抱える大きな問題が2点あります。
1つ目は高齢化の問題、全支部また本
部も含め会を支える会員の参加や役員
の構成が高齢化し、将来への存続が危
惧されています。また2つ目は工業高
校の学科の再編がどんどん進み、なく
なった科や新たに生まれた科等、複雑
になっています。これからこの2点に
ついて、工窓会役員および学校と協議
しながら、120周年までに新しい体
制での構築をしたいと思っています。
この会報をご覧になった会員の皆さ
ん、どうぞ母校を支援する工窓会とし
て、未来へ繋げなくてはならない会と
して、お知恵等をいただければ幸い
です。

最後に今年も7月12日(土)に工窓
会本部総会を、予定通り下記に記した
会場でたくさんの方の参加をお待ち
し、共に賑やかな総会にして未来へ進
んでいきたいと思っております。奮ってご参
加をお待ちしております。

工窓会 総会

令和7年7月12日(土) 午後4時から
今年も「ホテル一畑」ですよ!

お誘いあわせの上、多数の皆様のご出席をお願い致します。

特別企画

母校吹奏楽部の生徒によるミニコンサートを総会後に開催

懇親会

特別企画終了後

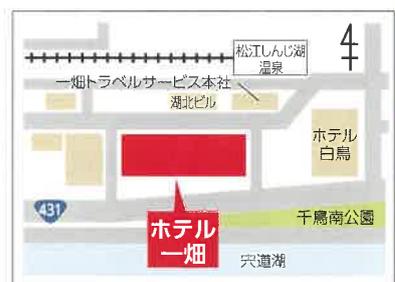
会費

5,000円

会場

ホテル一畑 (松江市千鳥町30 TEL 0852-22-0188)

【工窓会総会に関するお問い合わせ】 松江工業高校 (代) 0852-67-2121 担当: 勝部



集まれ!
同志!

令和2年度卒 (令和3年3月卒) 以降の卒業生は、懇親会費は無料です。是非参加してください。

母校創立120周年に向けて

校長 松原 紀夫



工窓会員の皆さまには益々ご健勝でご活躍のことと存じます。また、平素より本校の教育活動に格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

今年度より伝統ある松江工業高校の校長を務めます松原紀夫と申します。この場をお借りしてご挨拶をさせていただきます。本校には今回で3回目の赴任となります。工業科機械の専門教員として、平成2年度に本県教員として採用されました。松江工業高校には、平成9年度電子機械科の一期生の担任を2年次から受け持ったのが最初で、その後学科主任、教務主任、主幹教諭を務めさせていただきました。当時担任をしていた生徒が保護者として挨拶して下さった

り、教員として働いておられたりと長い間教員をやってきたことを痛感します。

本校の生徒たちは専門的な授業や資格取得に励みながら、部活動にも積極的に取り組んでいます。男子ソフトテニス部、男子バレーボール部、レスリング部は、国スポ強化指定校に指定され、県内高校生の技術力向上に貢献しています。その他、運動部だけでなく、文化部も全国大会へ出場する活躍をしております。定時制課程においても「ものづくり授業」に取り組み、地域とつながっています。こういった活動が、生徒にとって貴重な体験の場となり、本校にとっても魅力発信の一つとなっております。

最後に、会員の皆さまの益々のご活躍と工窓会のご隆盛をお祈りするとともに、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

令和6年度～7年度 全日制 部活動等成績

島根県高校総体 男子総合優勝

陸上競技部

◆男子総合4位 円盤投げ・ハンマー投げでインターハイへ

ソフトテニス部

◆2年連続団体優勝・個人1～3位独占でインターハイ出場

バスケットボール部

◆4位

バレーボール部

◆優勝にてインターハイへ



レスリング部

◆60kg級 優勝 全国大会へ

◆92kg級 優勝 全国大会へ

◆71kg級 3位

◆80kg級 2位

柔道部

◆女子57kg級 優勝 全国大会5位



演劇部

◆中国演劇発表会最優秀賞 (全国高等学校演劇協議会会長賞) 全国大会へ

ものづくり部

◆全国高校ロボット相撲競技大会 中国大会優勝 全国大会 経済産業大臣賞 国際大会出場しマレーシアに敗退

◆全国高校ロボット競技大会 県大会2位

◆高校生ものづくりコンテスト電気工事部門 県大会3位

◆高校生ものづくりコンテスト電子回路組立部門 県大会1・3位 中国大会2位

◆高校生ものづくりコンテスト木材加工部門 県大会3・4位

◆高校生ものづくりコンテスト機械系 中国大会初優勝 全国大会敢闘賞 (5位)

中国大会最優秀賞 22年ぶりに全国大会へ

演劇部顧問

亀尾 佳宏

工窓会員の皆様には、平素より母校の発展にご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

このたび、演劇部が全国大会（令和7年度全国総合文化祭）に出場することとなりましたのでご報告いたします。「演劇の全国大会」といっても、あまり知られていないと思いますので、まずは高校演劇の紹介からさせていただきます。

演劇部では舞台に立つ役者と、照明や音響の操作をしたり、舞台で使用する大道具を作ったりする裏方とで一つのお芝居をつくりま



す。全国には約2000校の演劇部があるといわれていますが、その中で夏の全国に出場できるのはわずか12校。つまり出場を決めた時点で、全国ベスト12ということになります。

今年度松江工業高校は「お手紙かみかみ」というオリジナル劇でこの狭き門をくぐりぬけ、中国代表として全国大会への切符を手にしました。本校が全国大会に出場しますのは、平成15年以来22年ぶりとなります。

今年の全国大会は香川県高松市を舞台に7月26日～28日、高松駅前サンプォートホール高松で開催されます。先日会場で上演準備抽選会があり、本校演劇部は大会2日目7月27日午後の上演となりました。ひとつの前の上演は、過去3度全国制覇をなした東の横綱青森中央高校。2つ前の上演は昨年一昨年と驚異の2連覇を果たし、前人未到の3連覇を狙う四国の雄、徳島城東高校。全国の高校演劇ファン注目の強豪2校の直後という今大会最も盛り上がりつつある枠で上演させていただくことになりました。

全国大会では上位4校に入賞した学校が東京・新国立劇場で開催される優秀校東京公演に出場します。関東地方の工窓会のみならずにもご覧いただけますよう、全国大会では上位入賞を目指したいと思います。

高校演劇の大会や舞台公演はあまり知られていませんが毎年各地の劇場で行われています。もし機会がございましたら是非劇場に足をお運びください。

【演劇部今後の予定】
●7月10日 島根県高校文化フェス

ティバルにて上演（浜田市・石中央ホール）

●7月27日 全国高等学校演劇発表大会にて上演（香川県高松市・サンポートホール高松）

●11月上旬 島根県高等学校演劇発表大会（松江市・島根県民会館中ホール）

●12月下旬 中国地区高等学校演劇発表大会（岡山市・ハレノワ）
*県代表となった場合

【テレビ出演予定】
●7月7日以降 「荒木まどかのぶらっとだんだん」（松江、安来、平田のケーブルテレビ）

●9月下旬 「青春舞台2025」（NHK Eテレ）*全国大会の模様

第24回高校生ものづくりコンテスト全国大会

ものづくり部機械系コンテスト部門顧問

野津 健

（M平成7年卒）

工窓会員の皆様におかれましては平素より母校の発展に多大なるご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、第24回高校生ものづくりコンテスト全国大会（溶接部門）に出場し敢闘賞を受賞いたしましたので皆様にご報告させていただきます。この大会は溶接部門のほかにも測量・科学分析・旋盤作業・木材加工・電気工事・電子回路組立・自動車整備の8部門に分かれており、全国各



ブロック（地区）大会で優勝した1名と開催県から1名の全10名で行われる非常にレベルの高い大会でした。

競技課題はJIS検定に準ずる「N12F」という内容で、厚さ9ミリの鉄板2枚の間に溶接を施し、限られた時間内に高い精度（溶接外観や溶接内部の超音波検査）と安全性が求められるものでした。

全国大会当日は、多くの大会関係者の方々や大会の雰囲気といった緊張感が漂う中、生徒はこれまでの練習の成果を発揮し、落ち着いた姿勢で競技に臨みました。また競技中も慎重かつ正確な作業を心掛け、時間内に課題を完遂いたしました。

結果として敢闘賞を受賞することができ、全国レベルの技術に触れたことで、生徒にとって大きな自信と成長に繋がる経験となりました。また、本大会を通して、他県の選手との交流や指導者の意見交換を行い、これからの工業教育の在り方について多くの学びを得ることができました。

最後になりますが、今後も生徒たちが技術・技能の向上を目指し、挑戦し続ける環境を整えて参ります。工窓会員の皆様には引き続き温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

定時制

体験学習

定時制では生徒たちがさまざまな経験を通して、勤労観やコミュニケーション能力を習得することを目的に多くの体験学習・講座などを実施しています。その一部を紹介いたします。

企業見学

社会的関心や職業意識を高めることを目的として、企業見学を実施しました。県内の企業や施設の見学を通して、実際の活動および様々な仕事や働き方などを体験的に学習しました。



茶道体験学習

1・2年生を対象に茶道体験学習を行いました。講師は、不味流不味公の絹川先生と杉原先生です。この茶道体験では、先生からお菓子をいただくところから、お茶をたてるところまでの作法を教えていただきました。一連の流れにお茶文化の奥ゆかしさに触れることができました。茶道体験を通して、伝統文化に触れることができ、良い体験になりました。

そば打ち体験学習

1・2・3年生を対象にそば打ち体験学習を行いました。講師は、地域のそば打ち名人である吉岡様と高橋様です。生徒は名人の指導のもと、コミュニケーションをとりながら和気あいあいとした雰囲気の中で、楽しみながらそばを打っていました。最後に自分たちで打ったそばを試食しました。色々な太さのそばがありました。とてもおいしくいただきました。



定時制卒業生会

定時制卒業生会では、母校在校生の就学を激励することを目的に援助を行っています。

テーブルマナー

サンラポール、むらくもにて、4年生を対象にテーブルマナー講習会を行いました。この講習会では、食育とコミュニケーション能力向上を目的として実施しています。



初めてコース料理を食べる生徒が多くいましたが、講師のきめ細かなご指導のおかげで、和やかな雰囲気のおかげで、事をいただくことができました。

皆勤・精勤賞表彰

定時制卒業生会では、1年間の皆勤・精勤の表彰を行っています。

本年は、皆勤賞1名、精勤賞1名が表彰されました。



県定通体育大会

バドミントン部2名、卓球部2名、陸上部2名が出場しました。このうち陸上部、卓球部は全国大会へ出場となりました。



がんばってます卒業生

テーマ
ベテランの先輩と
若手の後輩

株式会社中電工 鳥根統括支社 勤務

松尾 光一 (電気科 平成2年卒)

私達はライフラインである電力の安定供給のため、日々、配電設備の建設、修繕工事を1班5人で作業しています。森山君はそこで副責任者として業務をしています。細かな事までよく気付き、後輩達にもやさしく丁寧にコミュニケーションを取りながら指導を行っており、大変助かっています。今後は更に経験を積み、責任者として皆から頼られる配電マンになってくれることを望みます。



森山 直樹 (電気科 平成25年卒)

私は電柱・電線等の設備工事を行い、台風等で設備が故障した際には復旧工事も行っています。復旧作業を終えて電気を送電した時にお客様から頂いた感謝の言葉を励みに日々頑張っています。高校では先生方にご指導を頂き、様々な事を学びましたが、社会に出てからも学ぶ事が非常に多くあり、社会人の大変さを痛感しました。今後も先輩方から色々な事を学び一人前の配電マンになれる様、日々精進し業務に励みます。



株式会社金見工務店 勤務

狩野 雄太 (建築科 平成17年卒)

私たちは人々の住まいや生活を建築という分野で支え、地域に貢献しています。お客様の要望に技術力と誠実さで応え、満足・感動していただけるものづくりを目指して、日々努力しています。越野優真君は、まだ入社2年目ではありますが、さまざまな分野の建築に携わってもらい、頼もしい人間となって会社だけでなく、地域を支える人材になって欲しいです。



越野 優真 (建築都市工学科 令和6年卒)

私は現在、施工管理の業務に携わっています。金見工務店は若い世代の方も多く、社内は和気あいあいとしているので毎日楽しく仕事ができています！上司の狩野さんは、建築だけでなく様々な分野の知識があり一緒に仕事をさせて頂く中で、様々な事を教わり自分の成長を大きく実感出来ました。同窓の皆様、工業高校を卒業し1年たち仕事にも慣れてきたことと思います。これから先大変な事や辛い事などありますがお互い頑張っていきましょう！



株式会社さんびる 勤務

藤田 等 (電気科 昭和61年卒)

総合ビルメンテナンスを営む株式会社さんびるにて「地域の皆様とともに」をスローガンに、皆様の職場を快適な環境を提供するため日々努力しています。また、後輩の余村さんはいつも元気な挨拶をしてくれています。お客様からの信頼も厚く頑張っています。また後輩の育成にも力を注いでくれ、食事に誘ったりコミュニケーションを大切にしてくれています。



余村 宗龍 (機械科 平成18年卒)

ビルメンテナンス業務はオフィスビル、商業施設、病院などの建物で人々が快適で安全に過ごせる環境を維持する仕事です。清掃業務、電気設備、空調設備、防火設備、給排水設備など広い分野の学びや経験ができ、やりがいのある仕事だと感じています。

また先輩に現場管理や営業などたくさんのことを教えていただいています。また営業で同行いただくことも多く、一人で訪問するよりも成約率や展開が早く先輩との同行営業の力を感じ日々指導や同行いただけることに感謝しております。自分自身も会社に貢献できるような社員を目指し日々精進致します。



工窓会支部だより

東京支部

工窓会東京支部

会長 清山利治

(機械科 昭和32年卒)

令和6年度東京支部定期総会をアルカディア市ヶ谷にて開催しました。総会の前に日本大学名誉教授(出雲市出身)新宮清志先生に「建物のシエル・空間構造で、東日本大震災での建物被害の話を中心に、今後の災害に備える手掛かりについて」シエル構造を実験で説明した解説で興味深く震災への備えの大切さを再認識しました。又、定期総会では東京支部の決算・活動報告、平成7年度予算・活動計画等。今後の課題として(1)会員の高齢化が進み出席者の減少・退会者の増加傾向が顕著、(2)若年者の同窓会に対する希薄化、(3)物価高騰(切手代・会場費の増額)により通信手段等の検討・再構築、(4)関東への進学・就職者等の情報収集・入手が困難、(5)役員体制の刷新が急務を審議いたしました。

又、東京島根県人会総会とふれあいの集いでは、会員諸氏との親睦を行なっていることも報告し



ました。

交流会では小川たける歌謡ショー、会員相互の情報交換、抽選会等を実施して交流は密を増し楽しいひと時を盛会に終えることが出来ました。次年度は令和7年10月26日開催に向けて企画立案しています、先輩・後輩をお誘いして是非とも活動に参加して情報交換を行いませんか。会は更なる発展と活動の活性化に務めます。

近畿支部

近畿松江工窓会第104回 総会・懇親会

近畿松江工窓会

会長 三澤正

(定時制建築科 昭和43年卒)

令和6年11月30日(土) 13時~16時、大阪なんばの「道頓堀ホテル」にて開催。開会に先立って全員集合写真をパチリ！第一部開会の最初は逝去者に黙禱、三澤会長の挨拶、その後本部長田中様と学校長佐々木様にご祝辞をいただきました。現在は6学科編成で学科名も変わっているので、工窓会も今後の進め方は変化の過渡期になる。会計報告、監査報告、会則改定等、全て承認されて第



一部は終了。(小休憩)第二部懇親会はオープニングコンサートでスタート！最年配の青木さん(電気科32年卒)の乾杯で、健康に感謝して歓談交流会。和歌山の石倉さんのグループの「安来節・銭太鼓」で交流一体感、絶好調！その熱が収まっただけから今度は「景品付シネマクイズ」でまたワイワイガヤガヤ。ん!?最後にはアカペラで校歌斉唱。出席47名母校の絆を確かめ合った！ありがとうございました。

倉敷支部

倉敷支部事務局

登田一郎

(電子科 昭和41年卒)

倉敷支部総会は2部構成で第1部は田中会長の講演、第2部はカラオケでした。田中会長の講演テーマは「私の人生と企業」と題して、半生を振り返って頂きました。松工出身者の多くは中間管理職で退職しますが、田中会長は従業員2千人を擁する企業の現職の社長職。経営者としてのリーダーシップをご披露頂き一同感銘を受けました。カラオケでは普段の会話では得られない、隠された一面も知る事が出来たと



カナツ技建工業支部

カナツ技建工業支部

支部長 加藤恭浩

(土木科 昭和58年卒)

工窓会報をご覧いただいている皆さま、私どもは「工窓会カナツ技建工業支部」です。カナツ技建工業工窓会の歴史は、昭和50年代初めに当時の弊社社長(金津敬)自らが建築科卒業生であったことから、当時の卒業生社員を集めて卒業生会を開始したことから始まり、昭和55年に「カナツ技建工業工窓会」として発足しました。平成29年度に正式に企業支部として工窓会支部の仲間入りをしていただき、現在に至っております。

会員は弊社グループ企業全社が対象で、現在会員数90名、土木、建築、電気、機械、工業化学など各科の卒業生が在籍しており、毎年新入社員及びキャリア採用社員を迎えながら弊社企業グループの中心的な卒業生会としてグループ各社を支えております。

活動内容は定期的な懇親会の開催、母校野球部への支援活動などを行っておりますが、3年後に創立120周年に向けて少しでも母校にお役に立てる活動を目指すとともに、地元企業として今後も多くの卒業生を受け入れる企業でありたいと思っております。今年も7月の工窓会総会にて皆さまにお会いできることを楽しみにしております。工窓会万歳！



工窓会運営協力金にコンビニ・スマホが ご利用いただけるようになりました

毎年ご協力をお願いしております工窓会運営協力金については、これまで郵便局の振込用紙のみとなっており、利便性を考慮して欲しいとの要望がありました。

この度は、**コンビニ・スマホ決済(額面2,000円)**を利用できるようになりました。同封の「郵便局とコンビニ・スマホ対応振込用紙」をご利用されますとコンビニ振込またはスマホ決済が利用できるようになります。

また金額を自由に設定したい方のために、従来の「郵便局専用振込用紙」も添付しておりますのでご利用をお願いします。(氏名・住所等の変更を記載したい方はこちらをご利用ください)

情報技術科・電子機械科・建築都市工学科の 理事・評議員を募集します



現在工窓会理事会および評議員会では情報技術科・電子機械科・建築都市工学科の役員が欠員となっております。つきましては理事を各2名・評議員を各2名募集したいと思います。

役割としては年一回(5月中旬)母校にて開催される理事会・評議員会に出席いただいて、総会にかける議題を検討・審議いただくことになります。

情報技術科・電子機械科・建築都市工学科の理事または評議員を受けていただける方がおられましたら、工窓会事務局(松江工業高校 0852-67-2121 勝部)までお知らせください。

工窓会名簿発行について

令和9年度の母校創立120周年を記念して、工窓会名簿の発行を(株)サラトと協力して行う計画は順次進んでおります。

今後会員の皆様の手元に住所確認等の往復はがきが届く予定です(ハガキの返送先は学校宛となっております)。

返信のご協力をお願いします。

予定では令和8年春の発行を目指して準備を進めています。工窓会名簿の申し込み方法等の詳細は調査はがきをご覧ください。

寄附金の申し出がありました

昨年3月に、小松電機産業(株)会長兼社長である小松昭夫氏より同社の創業50周年と人間科学研究所の設立30周年を記念して、工窓会へ寄附金500万円贈呈の申し出がありました。

小松氏は昭和38年に松江工業高校機械科を卒業。企業経験を経た後に起業、創意工夫に努力され高速シートシャッター「happy gate門番」、総合水管理「水神」などの業界ヒット商品を創出して現在に至ります。企業経営に多忙な傍ら、人間自然科学研究所を設立して平和事業にも力を注いでおられ、その功績から平和宮・国際司法裁判所の100周年記念祭にて「世界の平和事業家20人」の一人に選ばれました。その平和事業は現在も継続しておられます。

事務局としては、この度申し出があった寄附金を令和9年度に迎えます母校創立120周年の記念事業にあてるため、母校の準備委員会とともに記念事業の計画を立てていくことを考えています。